

地域医療機能推進機構（JCHO）秋田病院

## 地域医療連携室だより

2019年度 第3号 12月



### ～地域医療構想について～ JCHO 秋田病院長 石岡 隆



JCHO 秋田病院への温かいご支援に心より感謝申し上げます。

先日厚生労働省が突然公表した地域医療構想に関する「再検証要請対象医療機関」の中に当院が含まれていました。これについては患者様や関係機関、地域の皆様に大変ご心配をおかけいたしました。

国が推し進めている地域医療構想調整会議は、「団塊の世代が後期高齢者になる 2025 年に医療需要が高まるのに合わせ、限られた医療資源を効率的に活用するため、病院が将来担うべき役割、機能分化等の方向性について議論し、病床数の削減や統廃合を視野に議論を進めていただきたい。」というものです。

これは「高まる医療需要に向けた対策」と言いながら、その実はベッドの削減や機能の統廃合、在宅復帰を進めて医療費を抑制し、かつ公的・公立病院の縮小・民営化を進めようというものです。

能代山本地域では少子高齢化と人口減少が全国に先駆けて進んでいて、急性期病床の過剰と回復期病床の不足が指摘され、各医療機関ともそれに対応しつつあります。在宅復帰を進めることは理想ではありますが、この地域では既に自宅の介護力が極めて弱くなっていて、高齢者の行き場がなくなっていることは皆様よくご承知のことと思います。公立・公的医療機関にはそれぞれが抱えている不採算部門もあり、性急に統廃合を進めようとするのは、地域からの医師の流出を招き、医療機能の低下や崩壊を招きかねないと考えます。また、医療機関の再編には民間の医療機関を含めた、全体を見渡した地域医療のあるべき姿を議論していく必要があると思います。

当院は、現在すでに 12 床を「地域包括ケア病床」という回復期機能の病床に転化していますが、急性期の入院患者の動向を見ながら、20 床まで転化していく方針であります。現在、重症患者や感染症を持つ患者などの管理のために個室の需要が多く、直ちに病棟単位での転化は困難であります。入院患者の減少が進めば、その時点で 1 病棟を地域包括ケア病棟に転化を検討することとしております。

6 月に外科医師の突然の退職により外科の診療能力が低下しご迷惑をおかけしていますが、一方で、弘前大学からの眼科医の応援により手術件数の増加を図ることができ、1 年以上の予約待ちが少しずつ改善できるものと考えています。また、下部消化管内視鏡検査も秋田大学消化器内科のご厚意により検査件数の増加が可能になりました。

病院、附属介護老人保健施設、健康管理センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援センター、能代市本庁地域包括支援センターの連携した運営を通じて、健康診断・医療・介護ともども地域包括ケアの機能を充実させて地域に貢献していく所存ですので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。



## 新任医師紹介



2019年10月よりJCHO秋田病院に赴任しました大山哲司(おおやまつし)と申します。弘前大学附属病院より参りました。湯沢市で生後半過した経験がありますが、それ以来の秋田県で能代市に住むのは初めてです。まだ長く経っておりませんがとても住みやすいところだと感じております。整形外科医として、整形外科診療や救急診療において、地域住民の皆様の健康を守るよう、病院職員と共に皆様にお力添え出来るよう全力を尽くして参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。  
(整形外科 大山 哲司)



弘前大学付属病院泌尿器科講座所属の卒後7年目医師の日下歩と申します。今までむつ市、大館市、函館市、弘前市と各総合病院での泌尿器科疾患や透析治療に携わって参りました。今回は初めての能代山本地区での診療ということで気を引き締めて診療に励みたいと思いますので何卒よろしくお願いいたします。  
(泌尿器科 日下 歩)



2019年10月より弘前大学眼科学講座講師として就任致しました齋藤昌晃と申します。JCHO秋田病院眼科部長熱海先生のご厚意で、毎週金曜日に白内障手術を主に担当させていただいております。

出身は群馬県桐生高校で、福島県立医科大学を平成8年に卒業し、以後同大学の眼科学講座に所属しておりました。2011年にはニューヨークマンハッタンのManhattan Eye, Ear, and Throat Hospitalに留学をし、9月までは秋田大学に約4年間所属しておりました。

今後、能代山本地区の医療発展にも貢献していきたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。  
(眼科 齋藤 昌晃)

## 職員ペンリレー紹介



### 趣味の時間を大切に～ランニングを通して～

3階病棟看護師の工藤涉です。

20歳頃からランニングを趣味としています。長女が生まれた後から中断していましたが、昨年2人の娘が保育園に入園しことを機にランニングを再開しました。今年度は1つのフルマラソンを含む5つのマラソン大会にエントリーし、自分なりのペースで全て完走することができました。

これから冬になり外でのランニングは難しくなります。しかし、来年度の準備はもう始まっています。目標タイムを設定し少しでも速く走れるように、外で走れない時期のトレーニング継続が大切です。

仕事・育児・趣味を行なっていくことは大変ですが、何歳になっても体力・筋力は成長できることを信じてこれからも走っていきます  
(3階病棟 看護師 工藤 涉)









## 認定看護師の活動

皮膚・排泄ケア認定看護師 五十嵐 元子

こんにちは。皮膚・排泄ケア認定看護師の五十嵐と申します。

皮膚・排泄ケアは3つの分野があります。創傷・オストミー・失禁です。簡単にいうと、褥瘡（床ずれ）・人工肛門（ストーマ）・おむつケアというところでしょうか。

皮膚は外からの刺激を防ぐ役割をしていて、人体最大の臓器ともいわれております。成人の場合、大きさでいうと畳1枚分にもなります。それだけ、皮膚は体を守っている大事な組織ですので、お肌のお手入れはていねいにしたいものです。

と、いうことで私は褥瘡外来と、ストーマ外来をそれぞれ月に1回行っております。いくら処置をしても治らないという方、対象となる部位が部位だけに相談しにくいという方、どこに相談したらいいのかわからなくて困っている方など、気軽に受診していただければと思います。

地域の皆様には、より健康な皮膚を維持していけるようなスキンケアを提供していきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



### 《ご案内》

褥瘡外来

第4月曜日

対 象 : 褥瘡のある方、処置方法に悩んでいる方、継続した処置が必要な方  
内 容 : エアマットや体位交換に関する相談、等

ストーマ外来

第1火曜日

対 象 : ストーマのある方で、皮膚にトラブルがある方  
※他院で造設された方は紹介状が必要となります  
内 容 : 装具の相談、その他生活に関する相談、等

いずれも新規で受診を希望される場合には地域連携室での予約をお願いいたします